

聖学院小学校

[理事長] 小池 茂子

[校長] 佐藤 慎

〒114-8574 東京都北区中里3-13-1 TEL 03-3917-1555 <https://primary.seigakuin.ed.jp>

【交通】JR山手線・東京メトロ南北線駒込駅より徒歩6分

すべてのことに感謝し
他者のために奉仕できる人に

神を仰ぎ 人に仕う “Love God and Serve His People”

幼稚園から大学、大学院までを有する聖学院は、今年創立121年目を迎えます。「神を仰ぎ 人に仕う」を教育理念として、他者のために奉仕できる人を目指します。

小学校は「よく学ぶ よく遊ぶ よく祈る」という教育目標のもと、一人ひとりに与えられている才能や能力をそれぞれにのばすことができる場所です。英語や表現活動、ワークショップ型授業などを通して新しい可能性に挑戦します。

こどもの成長に合わせた さまざまな「学び」

聖学院小学校では、こどもたちがバランスの取れた豊かな学びが進められるようにさまざまな取り組みを行っています。

授業での学び ●全クラスがオープンスペースになっていて、ワークショップ型の授業を多く取り入れています。活動を通じた学習により、自分で考え、友だちの考えに耳を傾け、より深い学びへとつながるように授業を進めています。また「表現」や「ハンドベル」「宗教」など特色のある授業も行っています。

宿泊行事での学び ●こどもたちの成長に合わせた宿泊行事を系統的に行っています。災害時も想定して学校に泊まる1年生「なかよしキャンプ」、自然の恵みに感謝し、さまざまな体験を通して学ぶ2年生「自然学校」3年生「清里自然学校」、雪国でのクロスカントリースキー体験をする4年生「冬の学校」、アクティビティを通じ英語と向き合う5年生「イングリッシュキャンプ」と続きます。そして6年生では小学校生活のまとめとして、長崎を中心に歴史や宗教、そして平和について考え学ぶ「修学旅行」を経験します。

国際交流での学び ●英語の授業は1年生から週に2時間行っています。4技能（話す、聞く、読む、書く）に加え、CLILと呼ばれる他教科と統合させた生きた英語学習を進めています。また、希望者には海外プログラムとして「ニュージーランド親子ショートステイプログラム」「オーストラリアホームステイプログラム」を実施しています。



沿革

学校法人聖学院は、今年創立121年目を迎える幼稚園から大学、大学院まで備わっている教育機関です。聖学院小学校は女子聖学院中高を母体として、1960年（昭和35年）女子聖学院小学部として創立され、1966年（昭和41年）、法人組織の変更に伴い聖学院小学校となりました。創立以来一貫してキリスト教の信仰に基づく教育を続けています。

2025年度募集要項

募集人員：男女72人（内部進学者含む）
出願期間：10月1日～10月7日
入学検定料：25,000円
入試面接日：10月19日
入試日：11月4日
選考内容：ペーパーテスト、面接、行動観察
合格発表：11月4日
【かかる費用】
入学金：250,000円 施設拡充費：100,000円
授業料：522,000円（年間）
施設費：90,000円（年間）※このほか教材費など

併設中学進学状況

◆聖学院中学校（男子18人）
◆女子聖学院中学校（女子25人）
※成績等が基準に達した者は進学可能

併設中学以外の進学先（2024年春）

【男子】武蔵、城北、麻布、栄光学園、海城、暁星、昭和学院秀英、成立学園、筑波大学附属、帝京、立教新座など

【女子】浦和明の星女子、大妻、共立女子、光塩女子学院、淑徳与野、頌栄女子学院、東洋大京北、豊島岡女子学園、普通士学園など

データパック

◆児童数 421人（男子206人、女子215人）
／教員数 30人
◆24年度応募者数：159人
◆合格者数：男女76人

【併設校】○聖学院幼稚園 ○聖学院みどり幼稚園 ○聖学院中学校・高等学校 ○女子聖学院中学校・高等学校 ○聖学院大学 ○聖学院大学大学院

上級学校に進むには

在学中の成績その他が基準に達すれば、男子は聖学院中学校へ、女子は女子聖学院中学校への推薦入学の道が開かれています。

よく学ぶ よく遊ぶ よく祈る

校長 佐藤 慎

聖学院小学校は「神を仰ぎ 人に仕う」を建学の精神とし、1960年の創立以来一貫してキリスト教に基づく教育を行っている小学校です。

この建学の精神を实践してゆくために、聖学院小学校は「よく学ぶ よく遊ぶ よく祈る」という教育目標を設定しています。この教育目標で大切なのは「よく」という言葉です。「よく」には「たくさん」という意味もありますが、それ以上に「全身全霊を傾けて」という意味があります。

「学び」においては習得した知識や技能を己のためだけではなく、他者への奉仕のためにも用いるとの目的を持ち、一生懸命学びます。

「遊び」においては自分だけ楽しければよいという思いではなく、自分も含めた皆がより楽しく遊ぶために心と体を用います。

「祈り」においては自分のためだけではなく、他者のため、とりわけ病やけがの中にいる友人のために、被災された方々のために、悲しみや困難の中にいる方のために祈ります。

聖学院小学校は子ども達が学校という社会で、共に学び、遊び、祈ることによって真に人を愛すること、そして愛を行動に結びつけるために必要な感性、知恵、技能などを身につけ、将来どのような仕事についても、それらを自己のためだけではなく、他者のためにも用いることのできる人となることを願い、教育活動を行っています。